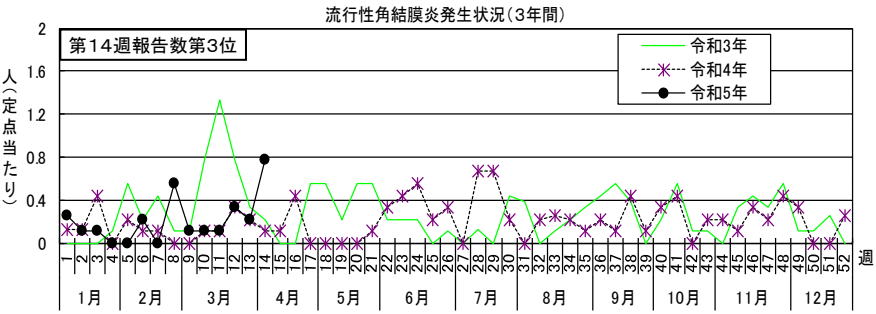
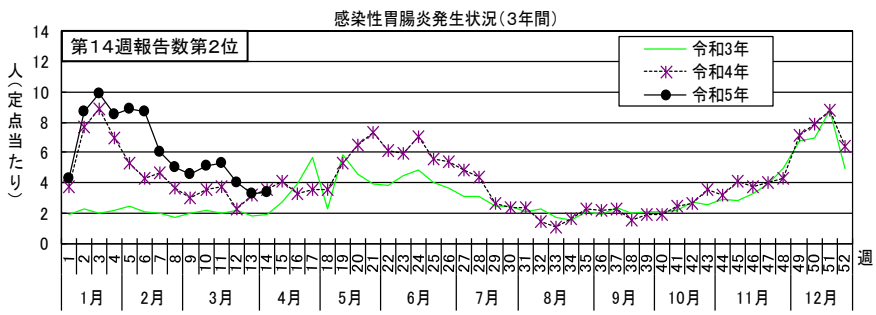
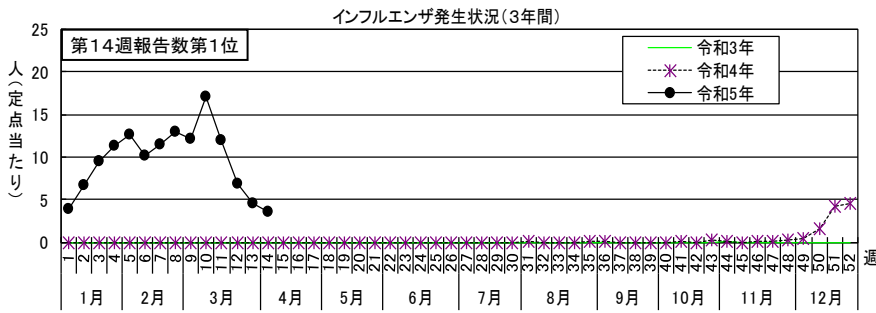


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年4月3日（月）～令和5年4月9日（日）〔令和5年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.57人と前週（4.51人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.41人と前週（3.27人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（0.22人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症～報告数が徐々に増加しています～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和5年3月上旬以降は毎週500件未満で推移していましたが、第13週（3月27日～4月2日）に543件、第14週（4月3日～9日）に695件と、4月に入り徐々に増加しています。直近4週間を、第7波及び第8波の初期と比較すると、10歳未満の小児及び10歳代の割合は減少していますが、60歳以上は第7波の9.8%から20.0%まで増加しています。特に60歳代では、第7波の4.8%、第8波の5.6%から10.0%と大きく増加しました。

4月末からの大型連休に向けて旅行や帰省等を計画されている方は、体調が悪い場合には無理をしないようにしましょう。また、咳や鼻汁など呼吸器症状がある場合は、飛沫感染を防ぐためにもマスクの着用をお願いします。

